

会 議 録

会 議 名	山陽小野田市新火葬場建設基本方針検討委員会会議（第1回）
開 催 日 時	平成25年10月28日(月) 午前10時30分～午後12時20分
開 催 場 所	山陽小野田市役所 大会議室
出 席 者	鷗 心治氏、前田良一氏、岡本志俊氏、水田三代春氏、 半矢幸子氏、中島嘉哉氏、吉岡信正氏、河口軍紀氏、 小柳朋治氏、嶋田正平氏、西山康彦氏、塩田賢二氏、 坂田佳也氏 以上13名
欠 席 者	なし
事務担当課 及び職員	白井市長 市民生活部環境課生活衛生係 川上部長、佐久間課長、幡生課長補佐、木村主査、中川主事
会 議 次 第	1 辞令交付 2 市長あいさつ 3 議題 (1) 委員長及び副委員長の選任について (2) 新火葬場の建設について (3) 市政説明会の状況について (4) 先例地の状況について (5) 市民アンケートの実施について (6) 今後の予定について 4 その他
会 議 結 果	1 辞令交付 市長が辞令交付を行った。 2 市長あいさつ 市長があいさつを行った。あいさつの後、委員及び市民生活 部環境課の職員が自己紹介を行った。 3 議題 (1) 委員長及び副委員長の選任 委員長及び副委員長の選任について委員に諮ったところ、 立候補及び推薦はなく、委員から事務局一任との意見があり、 委員長を前田良一氏に、副委員長を嶋田正平氏にお願いした 旨事務局から提案したところ、全会一致で承認された。

- (2) 新火葬場の建設について
(3) 市政説明会の状況について
(4) 先例地の状況について

環境課が説明を行った。

主な質疑応答は次のとおり。

委員：資料3の4ページ(2)事業費の表の一番右側の列の金額は何の数字か？

環境課：本市単独の山陽斎場の建て替えを想定し、火葬炉メーカーから見積りを取った。約2,300㎡の延床面積で当該事業者が積算した。

委員：民間の葬儀社での葬儀件数は把握しているか？

環境課：把握していないが、相当数あると認識している。

委員：民間の葬儀社からのアクセスも調査すべきではないか。

環境課：調査する。

委員：資料3の7ページ(2)計画基準(案)の(4)のカについて説明してほしい。

環境課：都市計画審議会では火葬場の都市計画を審議する際の基準であり、ア～カの基準に照らして総合的に判断する。8ページの新・都市計画マニュアルⅡなどもあり、市街地であっても建設例があることから、総合的に判断するための基準のひとつであると考えます。

委員：資料3の2ページ3の(3)火葬件数の推移について、市外の火葬件数が宇部市白石斎場に比べ山陽小野田市の小野田斎場及び山陽斎場が多いように思えるが何故か？

環境課：山陽斎場は合併前に旧楠町と一部事務組合を設置した経緯があり、宇部市楠地区の住民が山陽斎場を利用する。小野田斎場は、宇部市との市境に民間の葬祭場があり、厚南地区の火葬を受け入れる。これらの影響である。

委員：小野田斎場は火葬場の都市計画が定められていない。用途地域の変更など火葬場の都市計画を決定するためには様々な過程があるが、小野田斎場は現実的に都市計画決定の案件として適当なのか？

環境課：小野田火葬場は、用途地域の変更のほか墓園としての都市計画を変更し、新たに火葬場の都市計画を決定する

必要がある。用途地域の変更については、第1種低層住居専用地域の趣旨も考慮しなければならない。また、火葬場の設置を意図した用途地域の変更が適切であるかも考える必要がある。しかし、都市計画上の技術的な問題など、都市計画決定の可否について正式に判断していないので、小野田斎場を候補地として残している。

委員：山陽小野田市は数年前に用途地域の変更を行っている。その際に火葬場があるから用途地域を外すという議論はなかった。用途地域の見直しが必要な小野田斎場は候補地としてはかなり厳しい状況である。

環境課：補足するが、小野田斎場は面積も3,000㎡と狭く、背後は墓地であり拡張ができない。面積的に候補地としてかなり困難な状況である。

委員：次回の検討委員会でも質問はできるか。

環境課：今回は説明が中心であり、次回は今日の説明に対する疑問点や御意見をしっかりお聴きする。

(5) 市民アンケートの実施について

環境課が説明を行った。

検討の結果、アンケート用紙の設問3の「その他」を外し、実施要項のとおり11月中旬までに回収できるよう実施することとなった。

主な質疑応答は次のとおり。

委員：資料6の1ページの調査項目には建設手法とあり、2ページのアンケート用紙には建設方法とある。建設手法との表現はわかりにくい。建設方法に表現を統一すべきである。

環境課：建設方法との表現に統一する。

委員：設問2は三択になっているが、選択した理由は聞けないものか。理由を聞けば今後の参考にできる。

市長：設問3の「その他」を削ると選択理由を記載することができる。

委員長：アンケートの設問3の「その他」を外すことでよろしいか。

	<p>(異存なし)</p> <p>委員：資料 6 の 6 ページの建設費の中には造成工事費も含まれているのか？</p> <p>環境課：造成工事費、調査・設計費も含まれている。</p> <p>委員長：市民アンケートについては、設問 3 のその他を外して 1 1 月中旬までに回収できるよう実施し、次回の会議で結果の報告をお願いします。</p> <p>(6) 今後の予定について</p> <p>環境課が説明を行った。</p> <p>主な質疑応答は次のとおり。</p> <p>環境課：次回の会議は 1 2 月の第 1 週に開催する方向で日程調整を行う。</p> <p>委員長：今回は最初に 3 つの火葬場の視察調査を行い、その後、会議を開いてアンケートの結果の報告を受け、提言の項目について一定の方向性を見出したいが如何か。</p> <p>(異存なし)</p> <p>委員：会議の時間はどうなるのか？</p> <p>環境課：午後 1 時から夕方の午後 5 時までの会議となる。</p> <p>委員長：短期間での会議となるが、環境課には意見を集約の上、提言の骨組みを示していただければ、会議をスムーズに進めることができるので、配慮願いたい。資料は事前に配布され、委員にはあらかじめ資料に目を通していただき、会議に出席されることを要望する。</p> <p>4 その他</p> <p>特に意見等はなかった。</p>
--	---